

第二十九回フオト旬会優秀作品 (25年5月13日)

<自由題>



花もよし実もまた美味し

桃の里 池田 隆

寸評：満開の桃畑。木の間から世界遺産の富士山が小さくうかがえるという構図である。写真も句も上手く纏まっている。

三助とへちまは

遠くなりけり 三 春

寸評：腐りかけたへちまを何時までもぶら下げておいた執念とわざわざその写真を撮った執念を買いました。確かに三助は明治とともに遠くなりました。



天空に生きるシェルパの

業哀し 大月 和彦

寸評：エベレスト展望トレッキングの一駒。重い荷物を背負わせておいてその写真を撮り、「業哀し」と詠む作者の同情心

願かけて約束をして

それっきり 中村 晃也

寸評：願い事や約束事を描いて鍵をかける。日本の絵馬に似た行動ですね。最近、約束だけしてそのフォローをしない傾向も。



< 特 別 作 品 >

家老 (いえろう) の唄

イエローポストに

イエローバード

家老人 (いえろうじん) は

日向ぼこ

大越 浩平

寸 評：入選作でもないのに特別にこの作品をとりあげたのは、画像が珍しいことと句が意味ありげだったからです。フォト句の場合は、句は575である必要はないのですが、作者の制作意図を聞いてみると、曰く、この家は一人住まいの老人のための施設で、句の「イエロー」は黄色を表す一方、老人の一人住まいをあらわす家 (いえ) 老 (ろう) という意味を含ませているとのこと。

そう伺って原句に表題をつけ、原句の「イエロー人」を漢字に直しました。改めて読み直すと、なんとなく北原白秋の詩を読んでいるような気がしてきました。フォト句ならぬフォト詩が誕生しそうな気配です。作者のアイデアとデカダンなセンスに乾杯！

<句 付 け>

5月の御題写真



会社でのパパにびっくり！見学会
サイエンス！ カエルの孫もカエルです
まず現場！ パパの思いに夢育つ

池田 隆
矢澤 正二
大月 和彦

寸 評：

今月のお題写真は池田さん出題の羽田の整備工場見学時のジェットエンジンとお孫さんの勇姿でした。機械だけの写真と違って、可愛い坊やの顔が入ると写真が引き立ちますね。

池田さん：日曜日には家でダラダラしても、月曜から背広で出勤したはずの父親が作業衣姿で甲斐甲斐しく働いているのを見て、ご家族はお父さんを見直したはず。

矢澤さん：カエルを持ち出した意外性。カエルの子ではなくてカエルの孫を持ち出したユニークな視点が評価できます。

大月さん：現場を知ることの重要性。思うように子は育つかジレンマを抱えた親の心情。二つの思いが錯綜している。

今月の入選句には、俳句でいう「キレ」が入っています。いい傾向です。